

令和6年7月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

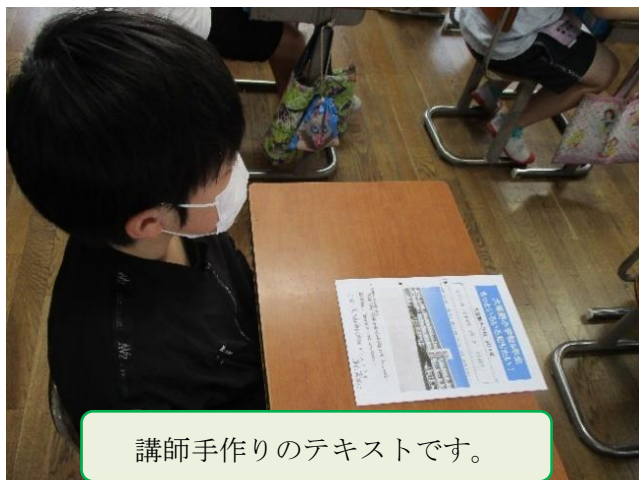
発行責任者 江口常雄

きずな

す 住 み よ い げん き な 緑 の 郷 大 草 野

大草野の歴史講話 大草野のことを勉強できました 6月28日(金)

今年から、6年生がお話を聞くことになりました。



講師手作りのテキストです。

これまで、毎年3年生が大草野の歴史や由緒ある場所などについて教わっていましたが、大草野の歴史を知るのには3年生では少し早いのではないかな、ということで6年生がお話を聞くことになりました。だから、今の6年生は、この講座を受けるのが2回目になるということになります。この講座の初めに、校長先生から校舎の大規模改造についてのお話があって、「この校舎がきれいにリニューアルして、また使えるようになるのは、君たちが中学2年生のときですよ。」と話されました。6年生は、どんな気持ちで聞いたでしょうか？

一ノ瀬顧問の講話は、学校に残る色々な施設の説明、大草野小学校校歌の歌詞の内容から、昔の大草野がど

んなどころだったのかとか、「おおくさの」の名前の由来などいろいろです。6年生がこの講話の感想を書いてくれていますので、2人の感想文を紹介します。

令和3年度に「大草野お宝スゴクマップ」、令和4年度には、「大草野お宝48」、令和5年度は「長崎街道ガイドマップ」と続けて作成しました。これらが、子ども達の大草野を知る材料の一つになって欲しいとも思っています。

他の児童の感想文も、大草野研修センターで掲示しています。



「大草野の歴史の話を聞いて」

6年 井上 笑

一ノ瀬さんの話をきいて、「うれしの」の名前の由来と「おおくさの」の由来は知っていたけれど「ほたる橋」の由来は初めて知れたので良かったです。また、年表に具体的に書いてあったので何があったかよく知ることができました。益社会は大切で大草野以外の地区ではこういう組織が無いのはすごいなと思いました。町の人達は協力しあって頑張ったんだなと思いました。あと2年で100年になるのがすごいなと思いました。学校の校庭に植えてあるいちようの木は福田わかさんという人と福田まきよさん姉妹が植えたことも初めて知れました。資料では昔の大草野の姿も写ってすごかったです。大草野は歴史がたくさんあるなと思いました。大草野について知れて良かったです。

「大草野の歴史の話を聞いて」

6年 香田 りん

6/28 今日、「大草野の歴史」をテーマに一ノ瀬さんからたくさん話を聞きました。私は自学で少し歴史について書いていたけれど、知らないことまで教えてくださいました。まず、昔は第二運動場はなく、第一運動場だけだったことを知ってびっくりしました。また、第一運動場にある忠魂碑という物は、最初はどんなことが書かれているかときもんに思ったけれど、これは「第二次世界大戦」で亡くなった人の名前がのっているということが心に残りました。これ以外の像等にもいろいろな意味がこめられていることが分かりました。大草野のことについて知ることができて良かったです。

花壇の花の植替え 7月7日：日（環境整備部会）

コスモスの種も蒔きましたよ！

この日は、まさしく梅雨の晴れ間で、気温も湿度も高く、ずーっと汗が出ていて、うっかりするとすぐに熱中症になってしまいそうな天気になりました。



本日、少なめの人数でしたが、無事終了です！

写真で見てもらえればわかりますが、この日は区役などが幾つかの区であって、生産組合長を主にした環境整備部会員さんは4人の参加でした。会長と事務局を合わせても6人と、少し寂しい感じでしたが、若い力(?)を結集して頑張りました。

西田部会長に花壇の図柄をお願いしていたところ、マスコットのホタピーのような図を描いて持ってきてくださいました。

西野副部会長が、絵を見るなり「カブトムシ!？」と大きな声で聞いていましたが、みなさん、これは正真正銘の「ホテル」ですから、間違えないようお願いいたします！

さっそく、みんなで畝を上げて土台作りをしていきます。土台ができたら、この日は30分で給水タイムにしました。若者ばかりですが用心するに越したことはありません。

道路側の方は、普通にストレートに畝を作り、トータル1時間ちょっとで植え込みが終了しました。

この後、花壇の奥側からグラウンドに向かう6区画に区切った畑と学校農園に、今度はコスモスの種を蒔きました、果たして誰が蒔いたところがきれいに元気に花が咲くか？ お楽しみに！



いま作業をしているのは頭の部分！ 右側は尾の灯りの部分になります。カブトムシではありませんよ！

大草野の子ども達に喜んで欲しいのが第一ですが、今年



は国スポ、全障スポも開催されます。大草野を訪れた人に喜んでもらえるような取り組みになったらいいと思います。例年行っている校区内一斉清掃も、今年はバージョンアップして行う予定になっています。清掃のための用具なども各区に配布をいたしますので、区長さんと環境整備部会員さんとで協力して、9月までのうちに各区の行事として実施をしていただくようお願いいたします。

「うれしいを、いっしょに。」をみんなで実行しましょう！

毎年、この季節はほんとうによく降ります。太陽が顔を出す時間がゼロの日が幾日も続き、気持ちにも日が陰ったように感じます。

それはさておき、最近の首都東京の様子を知らせる様々なニュースや今回の都知事選関係の顛末を見てみると、世の中が変わったと痛感します。私は、ゼツタイ、あんな日々の東京には住みたくない。

公務員時代、国の、大都市のこししか頭にないような様々な政策に接してきながら鬱々とした気持ちでしたが、今の一極集中を見ると、若者を独り占めにして吸い取る掃除機のような街だ、という印象があります。

一方、朝のニュースでは、東京は知的障害者ための施設が不足して、青森などのグループホームに多くの人が入所し、家族が離ればなれに暮らしていると、報じていました。

すべての面で人口に応じた環境整備が必要だろうし、本来、先進都市というのは「ゆりかごから墓場まで」安心して暮らせるところではないのか？と思ってしまう。

私に固有な経験例からは、優秀な長距離走者も「箱根駅伝」に憧れ、関東の大学に行ってしまう。九州の大学駅伝の大会は放送さえあつていない。一事が万事こんな感じで、誰もが洗脳されて行っていると感じるのは、私だけ？

《編集後記》
「首都東京の姿」